【1月号】

手のひら通信

２０１２年　１２月２２日発行

No.6

お問い合わせ
手のひらに太陽の家
宮城県登米市登米町寺池辺室山 17 番地 1
0220-23-9755(Tel)
0220-23-9756(Fax)
info@taiyounoie.org
http://taiyounoie.org/
日本の森バイオマスネットワーク

手のひらに太陽の家の各個室には、素敵な絵が飾られてあります。作家ｉｇｕさんの絵です。株式会社伝耕様が寄付して下さいました。そのｉｇｕさんの個展が東京・銀座で開かれることになり、太陽の家スタッフで行ってきました。個展では、イワシクジラ・手袋・気球・おしゃれな木・靴の車など、とても可愛らしく、ぷっと笑ってしまうような絵がたくさん飾られてあり、スタッフみんなで感動してしまいました。太陽の家の寄付も募るブースも設けて下さり、鑑賞に来た方々が太陽の家のチラシを手に取って下さりました。

本当にありがとうございました。

▲カードのアート

小林先生の研修報告

１２月１６日福島県飯塚病院精神保健指定医の小林恒司先生がいらして下さり、精神科医の視点から放射能についてお話して下さいました。明らかに放射能が原因かと思われる精神的肉体的症状が実例では報告されていなくても出ています。放射能にただ怯えるだけではなく、今の現状をきちんとした視点で見据え、これから育つ子供、その地域で暮らして行かなければいけない現状、そんな問題を配慮しながら、チェルノブイリで起きたことを参考に手のひらの利用者の方々の具体的な悩みや疑問に丁寧に答えて下さいました。

今の現状も大切だけれど、これから起こりうる５年先１０年先の被害の方が心配です。「これから放射能と向き合う為には心の方程式（不安や思考）を解き能動的な思考回路に変えていく必要性の方が大事だと思います（小林先生）。」

福島の方々と共に、沢山の方々が放射能や原発に対する問題を考え共有していきたいと思われる、とても有意義な時間でした。

今月の森のようちえんは、「かっぱのようちえん」！そうです、地元のかっぱの会の皆様の協力でとても楽しい森林散策と餅つき大会となりました。場所は鱒淵。夏には沢山のホタルが飛び交うとても自然豊かな美しい場所です。北風吹きすさぶ中、ちびっこと元ちびっこのかっぱさん達は寒さにも負けず森の中へ…。

森の生き物はひっそりとどこかへ隠れてしまったかな。植物も春にむけてちからを蓄えています。森には静かな命の営みがありました。

寒さから戻るとあったかい豚汁と臼と杵が待っています！さあ、皆で餅つきです。お正月には早いけれど、お供え餅の準備もしましたよ。手のひらでの初めてのお正月に飾るお餅ですみんなでぺったんぺったんと沢山のお持ちをつき、沢山の味でいただき沢山お腹も心も満たされて今年の森のようちえんはおしまいです。来年はどこへ行きましょうか？なにを見つけましょうか？参加して頂いた皆さん、１年ありがとうございました。我々を受け入れてくれた自然さん、ありがとうございました。

また来年よろしくね。

◀おもちつきの様子

手のひらサロン

１２月１５日にはクリスマスカード作りを行いました。教えて下さったのは、東和町の愛遊夢工房の酒井和男さんです。立体のクリスマスカードを、サンタや星、トナカイで飾り付けすると誰かにあげて喜ばせたくなるような素敵なカードが出来ました。カード作りが終わった後参加した地元の英語塾に通う子ども達が英語の歌のプレゼントをしてくれました。太陽の家の利用者さんも一緒に歌っていると大きなサンタさんが現れ、白い袋から小さな甘いパンを１人１人に渡してくれました。子ども達はとても喜び、サンタさんと一緒に歌を歌いました。ほんのちょっと早いクリスマスプレゼントを頂き一足早いクリスマス雰囲気に包まれた手のひらに太陽の家でした。

地域の皆様、ここを支えてくださった、いろいろな方々に本当に感謝の一年でした。ありがとうございます。

◀クリスマスツリーの完成！

☀今年の手のひらは、沢山のボランティアの方々に支えて頂きました。遠くから仕事の休みを利用して来て下さる方、一週間に何回も来てくれて、手のひらのメンテナスを担当して下さる方…。本当に本当に感謝感謝です。

１年間ありがとうございました。

小さな旅

手のひらに太陽の家から、こんにちは

～利用者の方々より～

木でできた部屋がとてもよかったです。泊まれてとてもうれしかったです！

（福島県福島市　１３歳）

子どもは心から笑顔で遊ぶことが出来たと思う。土もいじることができたし、親（私）からの「ダメ！！ダメ！！」がなかったし…。

大人は子どもの笑顔で元気になれる。放射能を気にせず普通の生活をすることがこんなに気持ちの良いことだったんだと感じた。

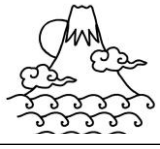
リフレッシュできた。

（福島県福島市　４３歳女性）

土いじり楽しかった

（福島県川俣町　３３歳のお子さんから）

☀Beautiful dreams come true.
Have a Happy Holiday!



１月の予定

１月のお花は「スノーフレーク/鈴蘭水仙」
英名のスノーフレークは雪のかけらという意味。原産地の開花期は夏。なので、「Summer snowflake （サマー・スノーフレーク）」とも呼ばれます。花言葉には「純潔 etc」があります。

日程	イベント	詳細
１月５日	かかんじき体験	雪遊びをしながら「かんじき」を体験してみましょう！深い雪でもへっちゃら！
１月６日	野鳥観察会	登米市は野鳥の越冬地で有名です。専門家の方と一緒に野鳥観察をします。
１月13日	カビ取スプレー作り	部屋のカビ取りスプレーを作ります。身体にも無害な材料できれいなお部屋に！
１月15日	森のようちえん	毎回好評の森のようちえん。寒い冬でも元気に自然へ飛び出します！
１月20日	小林先生による放射能についての勉強会	福島から精神科医の小林先生をお招きし、放射能の影響等についてお話いただきます。
１月中旬～下旬	手作り豆腐作り教室	地元の先生に豆腐作りを教えて頂きます。普段から手作り出来たら素敵ですね。
１月26日	ラフターヨガ	体全体で笑って、心も身体もほぐします。

※イベントへの参加ご希望・参加費につきましては「手のひらに太陽の家」へお問い合わせ下さい。☎0220-23-9755

※本事業は赤い羽根「災害ボランティア・ＮＰＯサポート募金」の助成を受けて実施しています。

支援団体の紹介

HILFSWERK AUSTRIA INTERNATIONAL　ADVANTAGE AUSTRIA WKO　TEAM7

オーストリア大使館商務部、TEAM7、Hilfswerk Austria International の皆様より、手のひらに太陽の家の家具：食器棚・キッチンテーブルといす・個室用の衣装ケース、座卓・事務用の机をご寄付頂きました。これらの家具は、接着剤や有害物質を使用せず、天然の木油や蜜蝋など自然素材のもののみを使用して作られています。

ヨーロッパの家具らしい遊び心も兼ね備えた、素敵な家具たち。そのデザインとフォルムが見事に手のひらに太陽の家と調和し、日々の生活を楽しくさてくれます。

▼個室の様子

日頃のご支援ご協力、誠にありがとうございます。

ある日のおひるごはんの様子▲

▲椅子をくっつけて基地を作ったよ！

海を越えた遠い国から手のひらに太陽の家に届いた支援の手。自然に優しい家具たちは、その使う人にも優しく。手のひらに太陽の家へ訪れた家族を出迎えてくれます。

手のひらに太陽の家基金 ～ご支援のお願い～

手のひらに太陽の家では東日本大震災により生活が困難になってしまった家族、特に放射線量の高い地域での生活を強いられている子どもたちを支援します。今も自然の中で存分に遊ぶことも出来ず、心身に大きなストレスを抱えている子どもたちがたくさんいるのが現実です。

７月21日の開所から、のべ39組136名のご家族に手のひらに太陽の家をご利用いただきました。（平成24 年10月５日） 今後、継続して活動を行っていく為には、皆さんのご支援が必要です。１人でも多くの子どもたちを笑顔にするために、皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

【銀行名】 七十七銀行（シチジュウシチギンコウ） 築館（ツキダテ）支店 店コード700
【口座番号】 普通預金 5411882
【口座名義】 手のひらに太陽の家太陽の家基金
理事長 佐々木豊志（ササキトヨシ）

手のひらに太陽の家公式サイトよりクレジットカードでご寄付いただける【オンライン寄付】や、毎月継続してご支援いただける【マンスリーサポーター】もあります。
詳しくはHPまで☀「手のひらに太陽の家」で検索！